JIS

火力発電用語一一般

JIS B 0130 : 2019

(TENPES/JSA)

令和元年 9 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第二部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	大 崎 博 之	東京大学
(委員)	青 柳 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	伊 藤 智	一般社団法人情報処理学会情報規格調査会 (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
	岩 淵 幸 吾	一般社団法人電子情報技術産業協会
	内 田 富 雄	一般財団法人日本規格協会
	江 崎 正	IEC/SMB 日本代表委員 (ソニー株式会社)
	酒 井 祐 之	一般社団法人電気学会
	住 谷 淳 吉	一般財団法人電気安全環境研究所
	高 村 里 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	田 中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	橋 爪 弘	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	平 田 真 幸	IEC/CAB 日本代表委員 (富士ゼロックス株式会社)
	水 本 哲 弥	東京工業大学
	山 根 香 織	主婦連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 49.8.1 改正：令和元.9.20

官 報 掲 載 日：令和元.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人火力原子力発電技術協会

(〒105-0014 東京都港区芝 2-31-15 北海芝ビル TEL 03-3769-3090)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第二部会 (部会長 大崎 博之)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲.....	1
2 用語の分類.....	1
3 用語及び定義.....	2
解 説.....	50
索 引.....	55

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人火力原子力発電技術協会（TENPES）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 0130:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

注記 工業標準化法に基づき行われた申出、日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第 9 条により、産業標準化法第 12 条第 1 項の申出、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

火力発電用語—一般

Glossary of terms for thermal power plants—General

1 適用範囲

この規格は、火力発電で用いられる全体、環境、運用、保守など一般に関する主な用語、及びその定義について規定する。

2 用語の分類

用語の分類は、次による。

a) 全体

- 1) 発電所の種類及び形式
- 2) 熱サイクル

b) 環境

- 1) 大気
- 2) 水質
- 3) 騒音・振動
- 4) その他

c) 運用

- 1) 計画・運用
- 2) 運転
- 3) 試運転及び試験

d) 保守

- 1) 保守一般
- 2) 検査
- 3) 溶接
- 4) 保温・保冷

e) 建設

- 1) 立地調査
- 2) 工程
- 3) 据付け

f) 土木・建築

- 1) 建物
- 2) 基礎
- 3) 港湾設備